五木東小

第20号

学校便り
文責
生田　文明

書の魅力

武田 双雲 氏 来校

二十九日、五木村子ども夢創造芸術文化イベント事業として、書道家　武田 双雲 氏による講演・ワークショップが本校体育館で開催されました。

「人は、それぞれ違う。違うからこそ一人一人は良さ（個性）を持っている。それ生かすことが幸せへとつながる。」「自分の心構えや態度が変わると、周りが変わる。周りが変わると世の中が変わる。」と双雲さんはこれまでの自分の人生を振り返りながら、自分のよさに気づき、それを生かすことが幸せにつながったこと。また、人の何らかのお役に立てばと思って、損得勘定なしに書き続けてきたことが、結果として書道家としての仕事ができるようになったことなどをユーモアたっぷりに私たちに話していただきました。会場のみんなが元気になると同時に、今後の自分自身の生き方を考える上で、大変参考となる講演でした。

また、ワークショップでは、児童生徒が書いた文字から、その人の性格や特性をぴたりと当てられました。まさに文字は人（人となり）を映す鏡のように思えました。

さらに、リレー書道では、文字の意味を考え、芸術としての書道のすばらしさを実感させていただきました。躍動する「龍」のごとき「龍」の書。感情が伝わってくる「怒」「悲」の書。そして、歴史の重さ、畏敬の念さえ感じる「五木村」。双雲氏の書は、感情・動き・思いがストレートに私たちの心に伝わってきました。

伝統文化・芸術としての書道のすばらしさ、奥の深さを実感した二時間でした。子どもたちも、自分の硬筆や毛筆を見直し、更にひらがな・漢字に興味を持つよい機会となりました。なんだか明日の「書写」の時間が待ち遠しいです。







春も花いっぱいの学校に

春に種まきしたマリーゴールドやアサガオなどの人権の花は、夏に花が咲き、今、たくさんの種ができています。

そこで、十二月の人権集会時の風船を使った種飛ばしに備えて、種取りを毎日行っているところです。

春の草花用の土づくりや、菜の花の種まきも並行して行っています。

来春も菜の花・パンジー・チューリップなどの花でいっぱいの学校になるように、子どもたちとあせをいっぱいかきながら作業を頑張ります。







全校児童三十九人に

福岡県から、帆足君（二年生）が本校へ転入しました。

四人の二年生の学級に同級生が一人増え、二年生をはじめ学校中の子どもたちは、みな大喜びです。

さすが本校の子どもたち。学級や縦割り班活動で声をかけ合い、すぐに帆足君と仲良くなったようです。





地域の皆様

「ベルマーク」ありがとうございました

六月にＰＴＡで村内に設置したベルマーク回収ボックスを、十月にいったん学校に集めました。回収ボックスに入っていたベルマークを家庭教育委員で集計した結果、１８７８．９点でした。地域の皆様、ベルマーク収集のご協力誠にありがとうございました。

今後も、回収ボックスを役場など村内十四カ所に設置しますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

